

福祉

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
福祉	こころとからだの理解	3	2年次・D群	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
こころとからだの理解 （実教出版）		介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 こころとからだのしくみ（中央法規）		福祉サービス系列の生徒は必ず履修する。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、介護を実践するための人間の理解に必要な資質・能力を育てる。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技術	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
自立生活の支援に必要なこころとからだについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	自立生活の支援に必要なこころとからだに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、こころとからだに基づいた自立生活の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

2 学習計画と観点別評価項目

学年	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1学期	第1編 こころとからだの基礎的理解	第1章 こころの理解 1 私たちの生活と健康 2 人間の欲求と基本的理解 3 動機づけ 4 自己概念と尊厳 5 思考・感情のしくみ 6 学習・記憶のしくみ	4	- 健康とは何かを理解する。 - 人間の欲求について理解する。 - 動機の種類と動機づけについて理解する。 - 自己概念と尊厳、生きがい、自己実現について理解する。 - 思考と感情のしくみについて理解する。 - 学習のしくみ、記憶の過程・分類について理解する。 - 知能のしくみについて理解する。 - 適応とストレス、防衛機制について理解する。	1 2 1 3 2
			7	5 6		2 2
			第2編 生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解	7		2 1 2
年間計画	2学期	第2編 生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解	第1章 生活動作に関するこころとからだのしくみ 1 身じたくに関するこころとからだのしくみ 4 入浴に関するこころとからだのしくみ 5 排泄に関するこころとからだのしくみ	9	- 身じたくに関するこころとからだのしくみについて理解する。 - 入浴に関するこころとからだのしくみについて理解する。 - 排泄に関するこころとからだのしくみについて理解する。	2 1 2 2
			第2章 からだのしくみの理解 1 生命維持・恒常性のしくみ 2 脳・神経系のしくみ 3 運動器系のしくみ 4 循環器系のしくみ 5 消化器系のしくみ	10 11		2 1 3 1 3 1 3 1 1

愛媛県立新居浜南高等学校

			6 呼吸器系のしくみ 7 感覚器系のしくみ	12	・呼吸器系の構造とはたらきについて理解する。 ・感覚器系の構造とはたらきについて理解する。	1 1 3
	3学期	第2編 生活支援に必要なところとからだのしくみの理解 第1編 ところとからだの基礎的理解	第1章 生体動作に関するところとからだのしくみ 6 睡眠・休養に関するところとからだのしくみ 第2章 生活場面の变化に関するところとからだのしくみ 1 感染に関するところとからだのしくみ 2 緊急時に関するところとからだのしくみ 3 災害時に関するところとからだのしくみ 4 終末期に関するところとからだのしくみ 第2章 からだのしくみの理解 8 内分泌系のしくみ 9 泌尿器系のしくみ 10 生殖器系のしくみ 11 血液・免疫系のしくみ	1 2 3	・睡眠・休養に関するところとからだのしくみについて理解する。 ・感染の成立、感染症予防、発生時の対応について理解する。 ・緊急性の高い症状や緊急時の対応について理解する。 ・災害時に起こりやすい症状とケア、災害救助や多職種連携について理解する。 ・終末期に関するところとからだの変化、支援のあり方について理解する。 ・内分泌系の構造とはたらきについて理解する。 ・泌尿器系の構造とはたらきについて理解する。 ・生殖器系の構造とはたらきについて理解する。 ・血液・免疫系の構造とはたらきについて理解する。	 2 1 2 1 2 1 2 1 3 1 1 3 1 1
学習評価	観点	1. 知識・技術		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
	規準	○教科書等の記述内容等を理解できているか。 ○統計資料から概念的なことが理解できているか。 ○ところとからだのしくみに関係する技術を習得できているか。		○学習内容を適切に活用し、表現できているか。 ○学習内容を関連付けて考えることができているか。 ○福祉的な見方や考え方をもとに、課題の設定や考察、表現ができているか。		○学習内容に興味、関心をもち、内容を考察し、自ら調べようとしているか。 ○積極的に課題解決に向けて取り組んでいるか。 ○ところとからだに基づいた自立生活の支援のために主体的・協働的に取り組んでいるか。
	手段	・ワークシート、課題、レポート ・小テスト、定期考査などの試験		・ワークシート、課題、レポート ・授業中の取組状況の観察 ・小テスト、定期考査などの試験		・ワークシート、課題、レポート ・授業中の取組状況の観察 ・小テスト、定期考査などの試験
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。			
学習上の留意点		「生活支援技術」の学習内容と関連させながら学習する。また、自己の日常生活を関連させ、理解を深める。 - 提出物は内容を確認し、できていることを確認して期日厳守で提出すること。 - 学習内容には実務者研修の内容を含む。 - 外部の介護専門職による講義がある。				